



昭和小だより

No. 2

文京区立昭和小学校

平成31年4月26日
校長 杉本 謙

子供のよさの見つけ、ほめ、伸ばす

校長 杉本 謙

校門の桜もすっかり緑一色になり、初夏の到来を実感いたします。5月から新元号「令和」を迎え、気持ちを新たに、子供たちの健全育成に力を尽くしたいと思います。

さて、毎朝校門に立ち、子供たち一人一人に挨拶をしていますと、子供たちは、私の目をしっかりと見て挨拶を返してきます。先日の全校朝会で、スクールガードの方が子供たちに「昭和小の子供たちが挨拶をしっかりと行えているので、これからも続けてほしい。」と話されました。

「挨拶ができるのは、当たり前。」とよく言われます。しかし、誰かが子供に挨拶の仕方をきちんと教えなければ、子供は挨拶をしっかりと行う事はできません。また、子供にも教えられた事をしようとする気持ちがなければ、このような挨拶をする事はできません。

「早寝、早起き、朝ごはん」「明日の学習の準備や宿題を忘れずにする」「横断歩道を安全に渡る」「手伝いをする」「使ったものを片付ける」など、身の回りには、大人が「できて当たり前」と思っている事がたくさんあります。これらの事は、指導の積み重ねと、子供自身に育った気持ちがあるからできるの

であって、自然に身に付く事ではありません。そう考えると、今できている一つ一つの事は、素晴らしく、価値のあるものだと言えます。

私が出張から帰校した時、「校長先生、お帰りなさい。」と声をかけてくれた子供がいました。「とても元気な声ですね。」とほめると、「校長先生もいつも元気だね。」と返してきました。私が「そんな風に言われると、とてもうれしいね。」とさらに言うと、とっても素敵な笑顔を見せてくれました。とても小さな事かもしれませんが、子供の素敵などところを見付けようと思って接していると、容易に発見することができます。

子供のよいところを見つけたら、是非ほめてください。子供たちは、ほめられる（認められる）と自己肯定感が増し、次の活動意欲につながります。そして、さらに素敵な行動をするようになります。これからも昭和小学校の子供たち一人一人のよさを見付け、伸ばせるように、教職員が一つとなって指導にあたりたいと思います。

明日から10連休が始まります。子供たちが安全・健康に過ごせ、連休明けに笑顔で登校することを心から願っております。

～教室の窓から～

算数少数担当 田口 恵理

小学校で学んでいる教科の一つに、「算数」がありますが、中学校では「算数」ではなく、「数学」という教科を学びます。先日、ある先生との会話から「算数と数学の違い」の話になりました。私は、「算数は数学の準備段階」のように捉えていました。でも、小学生の頃は算数が得意だったのに、中学校の数学になるとさっぱりわからなくて、あっという間に苦手な教科となっていました。なぜ、その公式を使うのか理解できないまま、答えだけを求めていました。自分から疑問を抱いたり、解決したりしようという力がなく、与えられたものをこなしていくだけのもったいない時間を過ごしていました。大人になった今、その力を手に入れるのは難しいです。日々子供たちと接していると、素直に疑問を抱き、自分で考えている姿を目にします。インターネットや書物から算数と数学の違いを調べたら、答えはすぐ見付かると思います。でも、子供たちの素直な「なぜ」「やってみたい」などの思いを大切に、一緒に探究し、成長していきたいです。